

# 議会だより 産山

第25号 令和6年5月発行

- ◆ 第2回(3月)定例会・P2~6
- ◆ 第3回臨時会・P7
- ◆ 一般質問・P8~11
- ◆ 編集後記ほか・P12

## 産山で見られる山野の花 13

キブシ(木五倍子) 「キブシ科 キブシ属」

日本固有種で、北海道西南部~九州、小笠原に分布し、山地の明るい場所に生育する落葉低木又は小高木。花期は3~4月、葉の展開前に開花し、長さ4~10cmの淡黄色の穂状花序が垂れ下がってつく。長さ4~10cmになる花序は前年枝の葉腋から出て垂れ下がり、それに一面に花がつくので、まだ花の少ない時期だけによく目立つ。

名の由来は、果実をヌルデ〔ウルシ科 ウルシ属〕の虫えいでつくる五倍子(ふし)の代用品として、黒色の染料(お歯黒)に用いたことから。



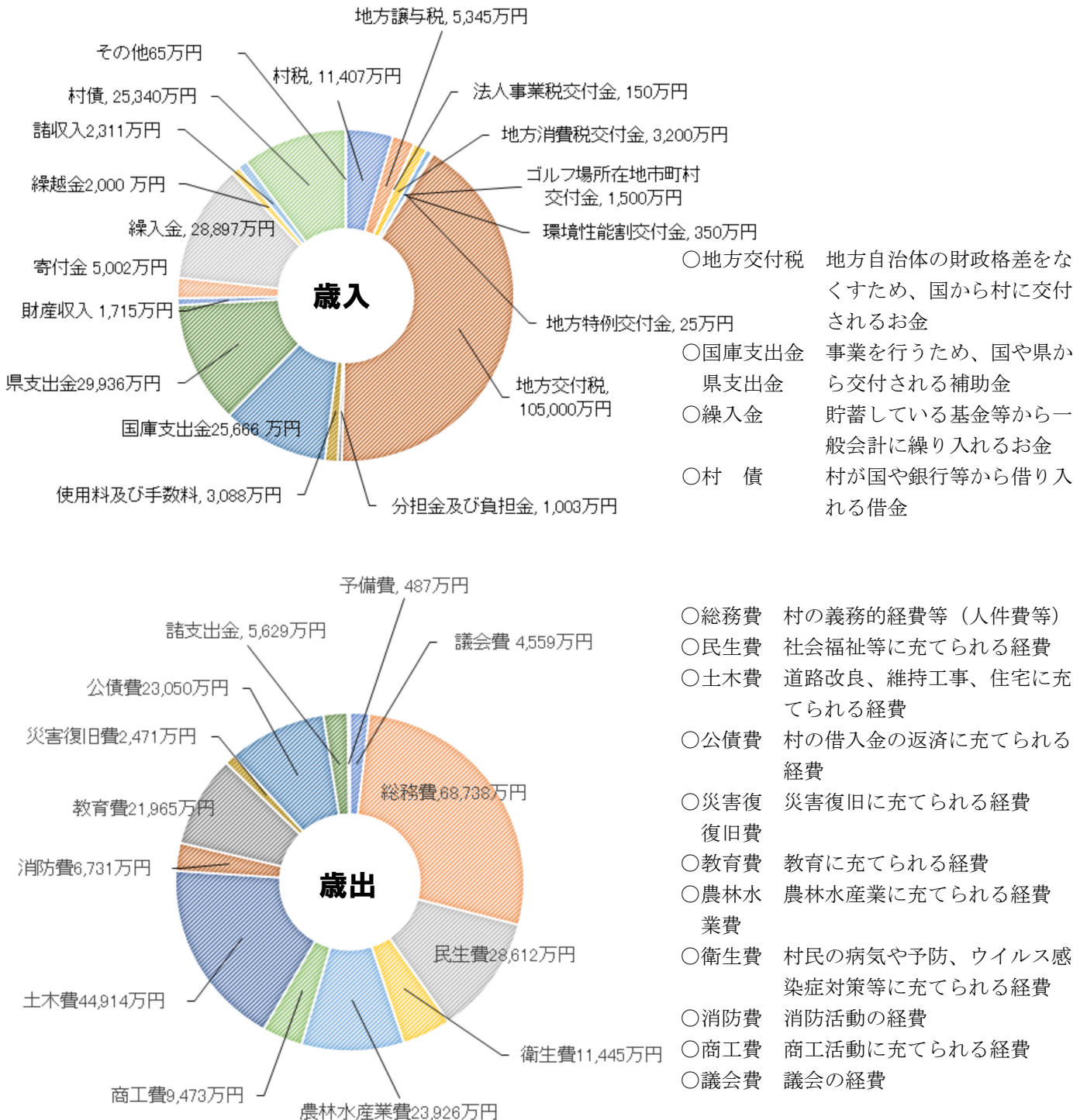
# 令和6年第2回（3月）定例会

令和6年第2回定例会が3月8日から15日まで開催され、村からの上程議案31議案が審議されました。一部事件撤回及び事件訂正がありましたが、全会一致で可決されました。

## 令和6年度一般会計予算

# 25億2,000万円

## 対前年比 3億9,900万円増額



\* 予算の詳細については、広報うぶやま5月号に添付された令和6年度産山村当初予算説明書をご覧ください。

## 令和6年度各特別会計予算

会計名	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
国民健康保険特別会計	2億1,390万円	2億734万円	656万円 増	103.2%
後期高齢者医療特別会計	3,230万円	2,860万円	370万円 増	112.9%
簡易水道事業特別会計	4,514万円	8,082万円	3,568万円 減	55.9%
診療所特別会計	5,990万円	7,150万円	1,160万円 減	83.8%
介護保険特別会計	2億7,320万円	2億6,210万円	1,110万円 増	104.2%

## 令和5年度各会計補正予算

会計名	増減	総額	主な内訳
一般会計	9,520万円 減	23億9,097万円	主な補正は、各種事業確定による増減
国民健康保険特別会計	212万円 増	2億1,120万円	各種事業確定に伴う増減
後期高齢者医療特別会計	184万円 減	2,750万円	各種事業確定に伴う減額
簡易水道事業特別会計	—	8,266万円	事業費確定に伴う財源更正
診療所特別会計	422万円 減	7,084万円	事業費確定に伴う増減
介護保険特別会計	58万円 増	3億1,129万円	事業費確定に伴う増減

### その他の議案

○報告第1号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和5年度第3四半期）について

**要旨** 「株式会社うぶやま」の10月から12月の経営状況について報告があり、うぶマートを除いた事業については、売上が増加しましたが、電気・ガス・燃料等の高騰により厳しい運営である旨が報告されました。

○議案第3号 産山村介護保険条例の一部を改正する条例について

○議案第4号 産山村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第5号 産山村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する規準を定める条例の一部を改正する条例について

○議案第6号 産山村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護の一部を改正する条例について

**要旨** 議案第3号から第6号までは、第9期介護保険計画に伴う利用料金や条項等の改正によるもの。

○議案第7号 産山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第8号 産山村職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第9号 村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例について

**要旨** 議案第7号から第9号までは、国の地方自治法改正に伴うもの。

○議案第10号 村有原野の貸付について

**要旨** 村有原野（大利地区）の貸付申請があり、令和6年4月から3年間貸し付けるもの。

○議案第11号 産山村高校生ががんばれ助成金条例の全部を改正する条例について

**要旨** 令和7年度から高校入学時の助成金の支給について上程されたが、再度検討する必要があるため、事件撤回となった。

**\*『事件撤回』とは、正規の手続きによって提出された上程議案を提出者(村長)側に取り戻し、最初から提出しなかったことと同じ状態にすることをいいます。**

○議案第13号 熊本県広域行政不服審査会共同を設置する地方公共団体の数の増加及び熊本県広域行政不服審査会共同設置規約の変更について

**要旨** 熊本県内市町村で参画する熊本県広域行政不服審査会共同設置規約について今回、玉名市、南関町、和水町が加入することにより条例を改正するもの。

○議案第14号 うぶマート事業特別会計設置条例を廃止する条例について

○議案第15号 うぶマート設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

**要旨** 議案第14号、15号について、うぶマートの運営が令和5年4月から「株式会社うぶやま」が指定管理者となり、産山村の管理運営が不要となったため、条例を廃止するもの。

○同意第3号 産山村教育委員会教育長の任命について

**要旨** 産山村教育委員会教育長について、令和6年3月末で任期満了となりますが、現教育長の星山 晃氏が再任されました。

○同意第4号 産山村教育委員会委員の任命について

○同意第5号 産山村教育委員会委員の任命について

**要旨** 同意第4号、第5号については、産山村教育委員会委員の任期が令和6年3月25日で2名の方が任期満了を迎えるため、それに伴い次期、教育委員会委員の同意を求めるものです。  
なお、同委員会委員として森本春樹氏が再任、碓井貴博氏が新任されました。

## 3月定例会（令和6年度主要事業）

### 最適土地利用総合対策事業 2,041万円



農地保全に必要な地域ぐるみの話し合いを行い、最適土地利用構想の策定や基盤整備等の条件整備、鳥獣対策、粗放的な土地利用等を支援する（財源：県100%）

### 稼げる村づくり推進事業 1,110万円



ふるさと納税の寄付額増加に向けた体制整備、ふるさと返礼品のブランド力強化、関係人口の深度強化、ふるさと特使の運営、移住定住者の支援の充実を図る（財源：国1/2 村1/2）

### 産山村観光施設修繕事業 4,643万円



村の観光施設の経年劣化により改修するもの。本年度は、ヒゴタイ公園キャンプ村ロッジ、ヒゴタイ公園ビジターセンター空調整備、ファームビレッジロッジ、うぶやま牧場の外壁・空調・電気設備など（財源：県、村）

### 道路新設改良費 2億3,306万円



写真は、改良工事が進む村道片俣・菅生線

本年度事業計画に基づき、改良及び防災工事を行うもの（道路改良2路線、防災1路線、舗装3路線、橋梁補修4橋、橋梁点検25橋、橋梁補修設計4橋、測量設計3委託）（財源：国、村債、村）



## 住宅改修事業

3,500万円



公営住宅長寿命化計画に基づき、大利団地（12戸）の外壁等の補修工事を行うもの（財源：国45%、村債55%）

## ゴミ収集車購入事業

1,300万円



現在稼働中のゴミ収集車の車体の劣化が進んでいるため、更新するもの（財源：村債100%）

## 3月定例会質疑応答



**【答】** 県の事業であるため、県の広報により周知した。村としてもお知らせ端末や広報等で周知を行った。640戸の予算枠で、対象世帯が467世帯で251戸の申請となった。

**【問】** LPガス料金上昇負担軽減対策事業について減額となっているが、申請が少なかったと思われるが、PRが少なかつたのではないか。

**【答】** 災害の復旧復興や地域防災の向上に使用する。  
また、この基金は令和8年12月末までに使うものとされている。

**【問】** 熊本地震復興基金追加分として、熊本県から1328万円が配分されているが、主な使い道及びいつまでに使わなければならないのか尋ねる。

補正予算から

**【答】** 今回の長寿命化計画の中で大利団地が令和6年度に計画されていた。牧野団地に関しては、現在の長寿命化計画では、軽微な修繕で対応する計画になっている。次期計画の中で令和7年度に設計をして令和8年度に工事をするような計画を立てている。

**【問】** 大利団地より古い住宅があり、その他の改修計画はあるのか。

**【答】** 12戸で外壁の改修であり、築年数が20年から21年が経過している。

**【問】** 大利団地の改修事業について団地建築年数及び何棟あり、どこを改修するのか。

**【答】** 経営開始資金事業については、新就農に伴う資金の交付事業で、就農から3年間の交付の事業。（令和5年度と令和7年度まで）  
経営発展支援事業補助金については、親元就農される方で今後家の農業を継承されていられる方に対しての補助金で上限1000万円の75%が補助対象となる。

**【問】** 経営開始資金事業と経営発展支援事業補助金の内容を伺う。

当初予算から

**【問】** 地方バス運行等特別対策補助金が昨年より57万円ほど増加している。廃止の計画があるが、どのようなになっているか尋ねる。

**【答】** 産交バスとの調整により次年度要  
求額である。

産交バスの存続状況であるが、三者会議（阿蘇市・産交バス・産山村）にて協議中である。



現在運行中の産交バス

**【問】** 稼げる村づくり応援団（ふるさと特使）推進事業についてかなりの方が特使になられたと聞いている。この事業の内容を尋ねる。

**【答】** ふるさと特使の活用については、産山村が好きである方、村の出身者、関係のある方に依頼し同意を頂き交付している。140名程度を目標にして現在約70名程度が特使になり産山の情報、広報誌、SNS等により家族、仕事先に情報を流していたため、名刺等も配布して産山村に来て飲食や品物を買っていたり、活動するための費用である。

**【問】** なでしこの里で先日、入居者の方の事故があったがそれに伴う対策はどのようなになったか尋ねる。

**【答】** 事故報告及び今後の改善策についてやまなみ会から提案があり、施設内に改善策を設置するので、村から確認に行き、内容については書面にて覚書を残すよう話している。

**【問】** 粗放的利用作物育成実証事業について内容を尋ねる。

**【答】** 効率のいい農地は、集積して担い手等に任せて、それ以外の土地を荒らさないため、管理できるようゾーンニングしていく計画であったり、植え付ける作物の検証や機械の実証を行う。  
内容については、地域の方に聞きながら進めていく。

**【問】** 情報通信環境整備対策事業等の内容について尋ねる。

**【答】** 無線基地局の整備に係る試行調査委託3カ所（ファームビレッジ産山、うぶやま牧場、ヒゴタイ公園キャンプ場）で情報通信機能が弱い所に基地局を整備してネット環境を良くし来訪者の満足度を上げていくと考えている。

水管理施設の整備に係る試行調査委託については、水道施設の田尻大神宮や南田尻配水池等について、水位しか見れない状況であるため、水道施設を見直す上でテレコン・テレメーターを進め集中管理しないと難しくなっているの  
でそう言ったことも含めて実証していく。  
現在役場にある水位計についても大半が故障しているため、通信設備の検討を実証していく。

**【問】** 産山地区公民館の耐震診断調査委託について1800万円が計上されているが、耐震診断調査だけでこの金額になるのか。

**【答】** 各地区公民館は、指定避難所になっており早急に耐震調査が必要で、一度にはできないので計画的に行い今回は産山地区公民館を行うものである。

なお、調査内容として耐震もあるが屋根裏にアスベストが使われているか調査しないと分からないところがあるため、1800万円を計上した。調査内容は基本調査のみである。



本年度耐震調査を行う産山地区公民館



## 令和6年第3回臨時会

令和6年第3回臨時会が3月27日に開催され、予算議案1議案、条例2議案を審議し、全会一致で可決されました。

### 令和5年度一般会計補正予算（第7号）

#### 補正予算5,507万円が増額され、総額24億4,604万円に

- 歳入の主なものは、各種交付税確定に伴い増額。
- 歳出の主なものは、うぶやま牧場の経営支援補助金として1,750万円を増額補助。
- 産山村光インターネット使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について  
要旨 産山村インターネットの月額使用料を4,598円から4,400円に変更。
- 産山村介護保険条例の一部を改正する条例について  
要旨 産山村介護保険の第9期事業計画に基づき、保険料を条例改正。



## 阿蘇広域行政事務組合 令和5年議会定例会報告

令和6年3月26日に大阿蘇環境センター未来館において、阿蘇広域行政事務の定例会が開催され、議会選出議員2名が出席しました。

なお、令和6年度の負担額は、下記のとおりです。

項目	一般管理	介護保険対策	障害支援対策	火葬事務	中部火葬施設	環境総務
産山村	235万円	189万円	16万円	12万円	228万円	46万円
阿蘇広域全体	1億62万円	7,657万円	707万円	444万円	2,341万円	1,724万円

項目	清掃施設	最終処分場	中部清掃	し尿処理施設	消防	合計
産山村	2,712万円	140万円	1万円	687万円	4,318万円	8,584万円
阿蘇広域全体	7億9,805万円	3,972万円	15万円	2億4,854万円	10億6,207万円	23億7,788万円

\*産山村の負担額は、前年比108.3%（661万円増）

万円以下については、端数調整

## Q：山村留学への関心が必要では！！

また、視察研修を行い、東京都全国山村留学協会、長野県北相木村を視察した。そのほか、



写真は第2回地域の人づくり講座風景

## A：理解を深めるよう工夫する。

### 一般質問



井 芳美  
議員

### ■山村留学について

【議員】山村留学の進捗状況を尋ねる。

【教育長】令和元年度に山村留学プロジェクト会議を開催し、山村留学の概要、ほか自治体の山村留学に係る事例等の学習会を開催した。なお、視察研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年から令和3年度にかけて事業が休止となった。令和5年3月に事業が再開され、福岡県八女市星野村の山村留学の取組について、プロジェクトチームで視察研修を行った。令和5年度においては、産山村の特色ある教育や自然環境体験として、一泊二日の山村留学体験会を開催し、県内から2家族の参加があった。

【議員】地域人づくり講座に参加したが、参加者が少ないのではないかと。御指摘のとおり、地域村民の関心が今ひとつのよう感じたところである。延べ52名の参加ではあったが、あと1年あるので、しっかりと学校や保護者の方を巻き込んで、理解を深めるため工夫をしていきたい。

【議員】地域人づくり講座に参加したが、参加者が少ないのではないかと。御指摘のとおり、地域村民の関心が今ひとつのよう感じたところである。延べ52名の参加ではあったが、あと1年あるので、しっかりと学校や保護者の方を巻き込んで、理解を深めるため工夫をしていきたい。

県と連携し、地域の人づくり講座を実施し、星野村の一般社団法人星野ふるさと専務理事や内閣府地域活性化伝道師を迎え、3回の講座を開催した。

## Q：八本松に防犯カメラを設置しては！！



八本松交差点

【村長】箇所について十分検討し、プライバシーなどの問題もあるので検討しながら進めたい。

【議員】この前事故があり、直ちに八本松に街灯と防犯カメラを設置するべきでは。

## A：十分検討する。

【総務課長】産山学園に2台、保育園に4台、役場に2台、その他防災カメラとして4台を現在設置している。今後は幹線道路沿いを含めた場所を中心に検討している。

### ■防犯カメラの設置について

【議員】防犯カメラの設置について、現在の設置状況及び今後の設置予定を尋ねる。

## Q：職員の働き方改革を！！

【議員】職員や村民をリラックスさせるため、トレーニングルームの整備するなど、職員のモチベーションが上がるような職場づくりを心掛けていただきたい。

【村長】近年多くの市町村が苦慮しており、職員を確保できずに加重労働となり、住民サービスが低下すれば大きな課題となる。そのため、課題がどこにあるのか真摯に受け止めて、真剣に取り組みたい。

## A：原因の解明に真剣に取り組む。

【議員】働き方改革と言われているが、職員の残業が多いのではないかと。

【総務課長】退職者は次のとおり

年 度	退職者数
平成30年	3名
令和元年	3名
令和2年	1名
令和3年	2名
令和4年	3名
令和5年	4名

【議員】役場職員の退職について、ここ5年間で何名の方が退職されたか。

### ■役場職員の退職について



**Q：長期避難の物資搬送体制は！！**

**A：避難所運営マニュアル沿って行う。**



鈴木 健士  
議員

**■災害時等の支援体制について**

【議員】本村災害時の食糧及び支援助物資の種類と在庫状況、その搬送体制についてそれに関連して長期避難に及んだ場合、新たに考えているものなどあったら伺いたい。

【住民課長】本村の災害備蓄品と搬送体制については、産山の防災計画並びに防災対策要綱、避難所運営マニュアルに沿って住民課が備蓄管理を担当し、災害時に迅速な物資の搬送と提供が行い、安定的な避難所の運営ができるように準備しています。備蓄品が不足状態になれば災害対策本部を通じて、必要なものを県や国に要望して、避難所運営班で受け入れ、供給していく計画です。

【議員】大変心強い備蓄があつて、うれしく思う。食料品物資の入れ替えの際に賞味期限切れはどのように取り

扱っているのか伺いたい。

【住民課長】期限切れ食料品は、廃棄処分を行っている。非常時に必要とする数量を考えまして、今後も適正な管理に努めていきたい。

【議員】廃棄処分ということだが、今後は防災訓練などを行う時に活用していただきたい。

災害も因果関係の種類によっては、道路状況、河川状況と被害は大きく異なり、救援物資を被災者の元へ届けることは容易でない。公的避難所だけでなく、自主避難される全ての人々に物資が行き渡るように最善の計画を立てていただきたい。



衛生品・感染対策関係

品名	数量
トイレトペーパー	624個
ウェットティッシュ	400袋
タオル	478枚
簡易式便袋	200枚
大人用おむつ	422枚
子供用おむつ	4900枚
ハンドソープ	171本
カイロ	500個

避難所生活資材関係

品名	数量
間仕切り	110セット
エアーマット	120セット
毛布	100枚
ブルーシート	400枚

非常食関係

品名	数量
保存水2L	450本
500ml	960本
非常用米・パン	965食
おかず缶詰等	630食

\*産山村の災害物資の主要一覧

**Q：災害担当職員の採用を！！**

**A：外部人材も含めて検討する。**

**■防災専門性を有する外部人材の採用について**

【議員】村では、防災の専門性を有した人材を災害担当職員として採用を考えていないのか。また、県内で災害担当職員を採用している自治体情報があれば伺いたい。

【村長】現在、頻発する大災害に備え、避難対策も含めて大きな課題であると思っており、専門的知見を有する防災担当職員の配置について県とも協議し、外部人材を含めた採用に向け、検討を進めているところである。

【総務課長】国が平成27年度に地域防災マネージャー制度を創設。現在、熊本県内においては、10市、9町、4村、県内で半数の市町村が配置している。

【議員】日ごろから、村民の防災意識を高めるよう啓発し、有事の際には的確で、効率的な救助や被災支援ができる、経験豊富で熟練された職員を配置することは、村民の安心安全を担うに必要な事案と考えます。万全な体制で地域防災に臨んでいただきたい。

**Q：現在の情報システムと並行してSNS活用を考えては！！**

**A：前向きに取り組む。**



城本 俊成  
議員

**■お知らせ端末**

【議員】お知らせ端末と併用してスマホ等、個々の機器に情報発信できないか。

【村長】お知らせ端末の更新事業の中で、スマートフォンを活用したお知らせを準備している。詳細は、担当課長から説明させる

【総務課長】従来のお知らせ端末は、阿蘇市・産山管内を無料で通話でき、防災行政無線の役割を備え、様々な情報・通行止め・葬儀等発信している。スマホの普及率の低い時代には情報発信に大きく貢献した。現在、令和5年度から3ヶ年かけて、各家庭のお知らせ端末の機器を更新している。新しい端末では、携帯でQRコードのアプリを読み込めば、それぞれの携帯電話で、お知らせ端末と同じ情報を共有で

きるようになる。今後、端末更新時に、周知を図り、機能が有益となるよう努めたい。

【議員】新しいお知らせ端末では、進化してそれぞれの携帯等で情報共有できる。

しかし、3ヶ年計画ではタイムラグが大きい。業界人ではないが、一つの例として、国民の70%が利用していると言われているLINEがあり、既に、自治体アカウントを取得しているのも70%、1200の自治体が取得し行政内の情報発信に利用しているところもある。情報漏洩という問題点もあり、改善される方向らしいが、行政コストがかからないと言うメリットは大きい。今回の端末事業では3ヶ年で7000万円を超える事業費である。民間の行政コストがからならないものも並行利用しながら、次の段階では、行政コストがかからないようにできないものか。

【企画振興課長】LINEで行政アカウントの取得が1200あり、パートナープログラムを結んでいる自治体は500を超えている。行政情報から申請手段まで増えており、アプリ利用に関しては、取り組むことは、十分に可能ではあると思っている。しかし、情報発信には、個人情報もありルール作りが必要と考えられる。より広く周知が出来る手法をとっていきたいと執行部側も考えており、前向きな方向で取り組んでいきたい。

【議員】現段階では、LINE等、リスクも若干あり、フルでの相互発信の必要性はないと考えられるが、携帯に情報発信することが可能であるならば、十分に研究して取り組んでいただきたい。



令和5年から令和7年度までに整備される新しいお知らせ端末





## Q：幹線道路に通称名と付けては！！

## A：地域の理解を得ながら検討する。



井 春夫  
議員

### ■県道131号笹倉〜久住線 に通称を

【議員】県道には通称がついている箇所がたくさんあり、例えば、北外輪の県道339号線には「ミルクロード」と通称がつけられている。

全国には通称をつけている県道は約1万カ所以上あるといわれており、正式な路線名とは別に、道路の特徴とか、歴史、あるいは文化などに基づいて地元の人々や行政機関によってつけられていることが多数である。

道路通称の制定は、道路法に基づくものではなく、都道府県の自主的な取組であるため、熊本県の出先機関に確認したところ、県道に通称をつける規制については、道路法や道路標識設置基準に明確な規定はないようで、一般的には道路の性格、目標値の知名度、道路密度等を考慮して、道路管理者が適切に決定するものとされている。

とされている。

県道に通称をつけることは、地域のイメージアップとか観光振興にも非常に貢献すると考えられている。

村内には、4路線の県道があり、「県道131号笹倉〜久住線」は村内中央部を横切る幹線道路であり、この道路に通称をつけることにより地域のイメージアップ、あるいは観光振興にも寄与すると考えられる。

本件は、今年度産山学園を卒業した生徒が、子ども会議に提案をしたかったが、他案件を優先したためにこの提案ができなかったというのを聞いており、ネーミング案として、ヒゴタイ友好ロード、カセサート通りなどの案があったようだ。

産山村の知名度の向上、活性化、観光振興のため、県道に通称をつけることを検討できないか伺う。

【村長】一般的に道路に愛称がつけられる理由は、イメージアップや観光振興に役立てられており、全国各地で愛称名がつけられた道路がある。



県道11号別府〜一の宮線は「やまなみハイウェイ」と呼ばれ親しまれている

利用者に分かりやすく、親しみやすい道路愛称をつけることは交通の利便性の向上に繋がるとともに、場所の特定がしやすく、目的地へ移動がしやすくなるという面で大きな効果があるとされており、災害時等における避難や緊急輸送等もスムーズに行うためにも役立てられていると聞いている。

【議員】タイ王国と友好35周年でもあり、広く村民に理解を得て、一般公募等により通称を付け、村民で幹線道路を育ててほしい。

地域の意識の高揚を含め、醸成を図り、行政も含め地域の理解を得ながら検討していきたい。



県道131号線笹倉〜久住線産山学園前



## 主 な 議 会 活 動

月 日	内 容	場 所	参 加 者
2月2日	熊本県町村議会理事会（リモート会議）	産山村	議 長
2月19日	子どもヘルパー活動報告会 例月監査	産山村	議 長 監査委員
2月20日	熊本県市町村総合事務組合定例会	熊本市	議 長
2月22日	熊本県町村議長会定期総会	熊本市	議 長
2月26日	第1回臨時会 第1回、2回全員協議会	産山村	議員全員
3月4日	阿蘇DC第6回理事会	阿蘇市	議 長
3月8日～15日	第2回3月定例会及び第3回全員協議会	産山村	議員全員
3月9日	産山学園卒業証書授与式	産山村	議員全員
3月22日	熊本県町村監査委員協議会総会	熊本市	監査委員
3月23日	うぶやま保育園卒園式	産山村	議員2名
3月26日	阿蘇広域行政事務定例会	阿蘇市	広域議員
3月27日	第3回臨時会	産山村	議員全員
3月28日	例月監査	産山村	監査委員
4月2日	うぶやま保育所入園式	産山村	議員2名
4月9日	産山学園入学式 阿蘇市町村議長会・阿蘇郡議長会総会	産山村 阿蘇市	議員全員 議 長
4月15日	中九州高規格道路監査	産山村	議 長
4月17日	第4回全員協議会	産山村	議員全員
4月26日	例月監査	産山村	監査委員

### 教育長再任

この度、再び教育長任命の同意を頂いた星山です。村民の皆様の負託に応えるべく精一杯、精進いたします。よろしくお願いいたします。

「うぶやまの教育」は、地域と連携した特色ある教育課程や取組で全国から注目されており、この4月から放送大学の教材番組として4年間にわたって全国に紹介されます。

「うぶやまの教育」の目指すところは、産山ならではの教育で、「産山で教育を受けて良かった、受けさせて良かった」と実感できる教育の創造です。このことを村民の皆様とともに目指していきたいと思っております。

また、社会教育では、広く村民の皆様と連携しつつ、地域の課題解決やまちづくりにつなげるため、学習機会の提供等、生涯学習の振興に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



### 編集後記



今年の桜は、梅雨のような風雨のため早く散り、残念でしたが草木も新芽を出し、あたり一面新緑に染まる季節となりました。この季節は、心がウキウキし、私は一番好きな季節です。

さて、熊本地震から8年が過ぎました。あの当時の恐ろしさを忘れかけているのは私だけでしょうか。

是非村民の皆様も今一度8年前の恐ろしさを思い出して、地震の備えに努めていただきたいと願う次第です。

#### 広報特別委員会

委員長	岩下 徳行
副委員長	城本 俊成
委員	井 芳美
委員	鈴木 健士

発行責任者 議長 西澤 正

編 集 広報特別委員会

発 行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3

☎0967-25-2635